

平成28年度

事業計画書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

公益財団法人東大阪市文化振興協会

公益財団法人 東大阪市文化振興協会 平成28年度事業計画

平成28年度公益財団法人東大阪市文化振興協会の事業計画は、次に定めるとおりとする。

1. 公益目的事業

地域文化芸術の振興並びに児童文化の育成を図る事業

市の文化施設を活かした様々な事業の企画及び実施により、市民が文化芸術等に対する理解と親しみを深めていただき、合わせて事業に積極的に参加できる環境づくりの推進を図り、市民の文化芸術スポーツ活動をより活発化させることで、潤いのある豊かな地域社会の実現を図ることを目的とします。

事業内容

(1) 文化芸術の振興を図るための催し物、講座及び展示等の実施に関する事業

東大阪市民美術センター

市民に親しまれる文化振興の活動拠点として、内外の優れた芸術作品を紹介する特別展示の開催や、市内の文化団体や各種グループの文化活動の成果・作品発表する場として、あるいは茶室を利用してお茶会など広く一般に開放し、また市民の創作活動のてがかりを提供する各種講座や美術講演会の開講など、市民の文化芸術の推進を図ります。

◇主な事業

① 特別展示

- ・「芸能衣裳の美 吉村ゆきそのの美意識」(5月中旬～6月)

上方舞吉村流の代表的な舞手である吉村ゆきその氏の、独特の美意識に裏打ちされた衣裳約80点に加え、有名舞踏家の枝裳師として活躍された小山祐陽氏のコレクションから衣裳・櫛・かんざしなども併せて展示。

- ・「名嘉陸稔の世界展 ～風の伝言を彫る～」(予定)

デザイナー、イラストレーター、プロデューサーとして精力的な活躍を続ける版画家の名嘉陸稔。作家活動25年の間に描いた木版画約2500点の中から代表的な大作2点を含む、120点にも及ぶ魅力溢れる作品を紹介。

- ・市制50周年記念、市民美術センター開館20周年記念

「安野光雅 御所の花」(平成29年2月～3月)

御所の庭に咲く四季折々の草花を題材にした130点の水彩画を前期、後期に分けて公開。

② 特別展記念催事

- ・「芸能衣裳の美 吉村ゆきそのの美意識」ギャラリートーク（5月14日・21日）
講師 吉村ゆきその氏
- ・「名嘉睦稔の世界展 ～風の伝言を彫る～」記念対談（予定）
講師 名嘉睦稔氏 石上 敏氏
- ・「安野光雅 御所の花」記念講演会（予定）
講師 安野光雅美術館学芸専門員 廣石 修氏

③ 企画展

- ・子どもラグビー絵画公募展
2019年のラグビーワールドカップ開催推進活動を広めるとともに、「ラグビーのまち東大阪」を担う子供たちに、ラグビーをもっと知っていただき、関心をもっていたくための絵画を公募し展示。
- ・そうさく展
過去「創作講座」を受講し、活動を続けておられる修了生を対象にした作品展。

④ ナイトミュージアム（9月～10月）

文化芸術にふれる機会を提供するため、市民美術センターを夜間に開館してライトアップするなど、いつもと異なる市民美術センターを演出。

⑤ ロビーコンサート（随時開催予定）

ピアノ・ヴァイオリン・フルート他の演奏、コーラス等。

⑥ 創作講座

はじめての水彩画教室、親子油絵教室、はじめてのパステル画教室、はじめてのデッサン教室。

⑦ 夢をかたちに展（6・11・3月）

創作講座修了生の作品発表展。

⑧ ボランティア活動

庭園美化、特別展・企画展の監視、研修会（美術館見学会）、ボランティア総会など。

文化振興協会が行う事業

◇主な事業

- ① 東大阪東西狂言会「和泉流狂言・大蔵流狂言」（10月26日）
- ② オーケストラコンサート「関西フィルハーモニー管弦楽団」（平成29年2月26日）

(2) 科学、文化教室、演劇、演奏会及びスポーツ活動を通じて、児童文化の育成を図る事業

東大阪市立児童文化スポーツセンター

子供たちが楽しみながら科学・文化・スポーツについて知識や技能を身につけるとともに、自発的に参加・体験、相互交流する中で、学習意欲の向上、健全な人間関係が構築されるなど、より広い視野で育ち豊かな感性を育めるような各種教室・事業を展開します。

◇主な事業

① プラネタリウム

- ・「通年：平日4回、日祝5回投影」

季節ごとにテーマを変え、子どもたちが宇宙や星に関心をもてるような番組や学校園等団体向けの各学年に応じた学習番組を企画し投影します。

② 常設（科学）展示室

- ・「通年展示」

宇宙と人間を基本テーマとし、宇宙・地球・人間・科学のふしぎについて展示物を通じて子どもたちが楽しく体験しながら学習できるコーナーです。

③ スポーツホール

- ・「通年：1日5回入れ替え制」

子どもが、安全に思い切って体を動かせるよう床全面にソフトマットを敷き、大型遊具や一輪車等、子どもたちがいろいろな遊具を使って「遊び」を創り出し、飛び跳ねたり、転がったり、走り回ったり、運動の楽しさと喜びを味わう運動広場で、安全面・衛生面でも質の高いサービスを提供しています。

④ 多目的文化ホール

希望する団体または個人に有償または無償で、施設を利用させていただきます。

また日頃、鑑賞する機会の少ない優れた児童演劇や音楽・映画の鑑賞、活動成果の発表、文化活動を続けている子どもたちの発表の場として、さまざまな文化に触れることで感性豊かな人間の育成を図り、表現力を高めます。

⑤ 事業等

- ・「星空（天文）教室」

プラネタリウムでの星空観察を中心に、天体観測実習なども交えた教室

- ・「星をみる会」

毎月、夜に屋外にて天体望遠鏡を使って天体観望をする会を開催

- ・「星空たんけん隊」

夏の五條市「星の国」、冬の志摩市「アクアヴィラ」で宿泊にての天体観察会

- ・「生物教室」

野外観察や顕微鏡を使った、実習などを交えた継続的な教室

- ・「科学クラブ」

科学分野の総合講座

- ・「ものづくり教室」

親子陶芸、七夕かざりなど、手作りの楽しさを体験してもらう教室

- ・「ハンドベル教室」

ハンドベルの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室

- ・「バイオリン教室」

バイオリンの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室

- ・「書道教室」
楽しみながら習字を経験し、技術を高める教室
- ・「劇団ダンス・バレエ教室」
ダンス・バレエを楽しみながら、技術を高める教室
- ・「子ども文化劇場」
日ごろ触れる機会の少ない児童演劇・人形劇等の公演
- ・「子どもの日ゆめ劇場」
日ごろ触れる機会の少ない児童演劇・音楽会の公演
- ・「子ども映画サロン」
年3回程度、子ども向けの楽しい映画の鑑賞会
- ・「演劇団体鑑賞会」
学校園での開催がしにくくなった児童演劇・人形劇などの鑑賞会
- ・「クリスマス発表会」
ハンドベル、バイオリン教室に参加した子ども達の発表会
- ・「教室発表会」
各種教室に参加した子どもたちの発表会
- ・「子ども文化祭」
文化活動している子どもたちのグループに、発表の場を提供
- ・「児童文化スポーツセンター児童劇団（フラットトリップ）」
小学生から高校生までの劇団。創設記念公演
- ・「児童文化スポーツセンター管弦楽団（チェルボ）」
社会人の管弦楽団。中高生の研究生募集「秋の音楽会」「春の音楽会」
- ・「プラネタリウムドームコンサート」
プラネタリウムドームでのコンサートを開催
- ・「ロビーイベント」
1階ロビーでの個展、コンサート、お茶会等の催
- ・「凧あげ大会」
日本凧の会による実演・指導により、伝統的な遊びを体験・継承
- ・「幼児教室（わいわいキッズ）」
就学前の子どもと保護者が楽しみながら心と体の触れ合う教室
- ・「夏休み一輪車教室」
一輪車の正しい乗り方など基礎から楽しみながら技術を高める教室
- ・「夏休み逆上がり教室」
逆上がりを基礎から楽しみながら技術を高め克服する教室
- ・「夏休み世界のクワガタ カブトムシが大集合」
世界のクワガタ カブトムシの展示、頒布
- ・「夏休み工作教室」
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施

- ・「夏休み特別展」
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施
- ・「子どもお祭り広場」
日本の文化や風俗を体験でき、家族で楽しめる「ふれあいの場」
- ・「幼虫飼育教室」
昆虫を幼虫から飼育する技術を習得する教室

⑥ 連携

- ・「市や他施設との連携」
市や民間企業、他施設と連携し、さまざまな共催事業を企画し実施
- ・「地域との連携」
英田中学校区地域教育協議会との連携の推進、また地元商店街との連携
- ・「子供会との連携」
東大阪市子供会育成連絡協議会との連携の推進

⑦ その他

- ・「研修」
市や教育センターと協同で、館内外において職員や教員等の研修を実施する
- ・「職業体験学習等の受け入れ」
学校園からの依頼により職業体験・仕事の聞き取り学習等の受け入れ

(3) 郷土の文化遺産に関する資料収集と保存及び公開普及を図る事業

東大阪市立郷土博物館

東大阪地域の歴史・文化財の調査・研究並びに考古・民俗その他の各種資料の収集・保存・管理を行うとともに、各種資料を基に展示事業・講座を開催し、四季に応じた昔の暮らしをテーマとした体験学習や春・秋の史跡ハイキング等の企画を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め理解し、郷土を愛する豊かな心を育めるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

- ・常設展示「かわちのくに」展
これまでの発掘調査や市民からの寄贈資料をとおして、市内の人々が暮らし始めた約2万年前から昭和時代までの郷土の歩みを時代順に振りかえる。
通史的内容であることから、小学6年生の社会科や総合学習との連携を図ります。
- ・テーマ展示
「行基の時代の東大阪」展
本年度は、約1300年前の奈良時代に活躍した、行基の時代の東大阪の様子を振り返る。
「武士のみた東大阪」展 ～鎌倉～室町時代の遺跡
武士が活躍した鎌倉・室町時代の東大阪の様子を紹介する。

- ・コーナー展示

- 「夏のくらしと民具」展

- 博物館に収蔵されている資料の中から、昭和の時代の夏に使われていた民具を展示する。

- ・特別展示

- 「山畑古墳群のあゆみ」展

- 市域にある山畑古墳群の形成から展開をとおして郷土の歴史についての理解を深める。

- ・企画展示

- 「昭和のこどもたちと東大阪のくらし」展

- 昭和時代の東大阪の暮らしを、市民寄贈の民具類を通して当時の人々の暮らしを振り返る。

- 小学校3年生の学習内容に沿った展示で、小学校と連携を図る。また、実物の民具に触れるなど使用体験できるコーナーを併設。

- ② 体験学習等

- ・綿くり体験と種の持ち帰り

- 綿は、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、「河内木綿」として全国的に知られる製品となっていました。秋に収穫した「河内木綿」の実綿から綿くり機で種を取り出す体験と、その種を持ち帰り栽培してもらう。

- ・春の体験イベント「染め物にチャレンジしてみよう！」

- 博物館周辺にある自然素材を使った染め物に挑戦する。

- ・「いなだもも」の苗木無料配布

- 江戸時代に河内地域で盛んに栽培され全国的に知られていた「いなだもも」の苗木の無料配布を通して、郷土の歴史について理解を深める。

- ・「カブトムシ」の無料配布

- 入館者に1人1匹のカブトムシを無料配布する。

- ・夏休み親子手作り教室「自然素材をつかった はがきと夏の昆虫づくり」

- 博物館周辺で採取された木片、葉などの自然素材を使って、はがきと夏の昆虫をつくる。

- ・夏休み親子体験イベント「勾玉・盾づくりと古代人なりきり体験」

- 勾玉・盾づくりに挑戦したり、古代人の衣装に着替えて変身してみる。

- ・秋の体験イベント「秋の自然素材を使った親子でのものづくり」

- 博物館周辺にある秋の自然素材を使ったキャンドルやリース・ツリーづくり。

- ・年末の体験イベント「干支の置物とミニ門松づくり」

- 秋に取れた稲わら、松ぼっくりや粘土を使って、干支の置物とミニ門松をつくり、昔の年末行事の一端にふれる。

- ・冬の体験イベント「わらぞうりをつくろう」

- わらぞうりづくりをとおして、郷土の昔の暮らしの一端を知るイベント。

③ 史跡ハイキング・講演会・講座等

- ・古墳の定期見学会 ～五里山・六万寺古墳群～
博物館周辺にある古墳の定期見学会で、五里山・六万寺古墳群を訪ねたのちに博物館で出土品を見学する。
- ・春の史跡ハイキング「記紀の舞台 日下を訪ねる」
記紀の舞台にもなっている生駒山麓にある日下の史跡を訪ねる。
「国際博物館の日」の参加事業のため入館無料。
- ・古墳の定期見学会 ～山畑古墳群～
博物館周辺にある古墳の定期見学会で、山畑古墳群を訪ねたのちに博物館で特別展を見学する。
- ・秋の史跡ハイキング「河内の古墳群～高安古墳群～」
八尾市にある高安古墳群の史跡を訪ねる。
- ・講演会 「山沿いの群集墳」
市民を対象に、特別展示の内容に沿った講演を開催。

④ その他

- ・博物館実習生の受け入れ
東大阪市周辺にある大学からの依頼に基づき、学芸員資格取得を志す学生に対して実習の機会を提供し、将来的な博物館活動の発展を図る。
- ・職業体験、仕事の聞き取り学習の受け入れ
小・中学校の「総合的な学習の取り組み」に連携して、市内各学校からの依頼により実施。
- ・博物館収蔵資料の閲覧・貸し出し業務
- ・博物館収蔵資料の保存・管理
※平成23年度以降新規に収集した博物館資料等
博物館寄託の門脇家文書に登録番号を付し、管理（登録）台帳の作成
- ・団体見学時における資料解説
- ・出前教室等の講演依頼による講師派遣等の対応
- ・教育委員会（文化財課）が主催する、資料展示会等への協力等
- ・講座 「世界の神話」
平成26年度開催時は好評であったので、今回は「星にまつわる神話」を取り上げ、講座終了後には児童文化スポーツセンターでプラネタリウムの鑑賞会行う。

鴻池新田会所

会所の歴史の調査・研究並びに民具や会所に関する資料収集・保存・管理を行うとともに、会所の建物群、庭園の公開並びに新田開発に関する資料と民具の展示等に加えて、会所を活かしたさまざまな事業（座敷や庭園での茶会の開催、歴史に関する講習会、コンサート、体験学習等）を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め広く理解してもらえるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

・オープンエアミュージアム事業

国史跡重要文化財に指定されている建造物や民具を一般公開。会所の役割や歴史的背景の学習の場を提供。

・コーナー展示

「鴻池新田会所に関連する展示」(5月下旬～7月)

・鴻池家寄贈民具展「むかしの道具いろいろ」(1月中旬より2月末)

火鉢、ランプ、提灯、かご、人力車、ラジオ、蓄音機、天秤ばかり等を展示。

② 体験学習等

・木工の匠「子どもゆめ基金〔申請中〕対象事業」(8月上旬)

カンナやノコギリ、小刀等を使う機会が少ない、現代の子どもたちと共にモノを作る工程を学び、工夫と作業でモノを完成させる喜びを体験します。

・綿くり、綿うち、糸つむぎ「子どもゆめ基金〔申請中〕対象事業」(11月上旬)

会所で収穫した綿を使い、糸ができるまでの仕事を体験します。

・迎春～日本の伝統行事の体験～(12月中旬)

「しめ縄づくり」「子どもゆめ基金〔申請中〕対象事業」

むかし農家の副業だったしめ縄作りの講習。

「もちつき」「子どもゆめ基金〔申請中〕対象事業」

会所のかまどで餅米を蒸し、杵・石臼を使って昔ながらの餅つき。

③ 史跡ハイキング・講演会・講座

・史跡ハイキング①(5月中旬)「未定」

・史跡ハイキング②(5月下旬)「古地図見て歩きシリーズ⑤」

・歴史講座①(6月上旬)

・歴史講座②(6月下旬)

・歴史講座③～⑥(9月中旬から4回)

・史跡ハイキング(10月下旬に2回)

④ 展示・公開に関する業務(ガラス乾板写真の調査、保存及び公開)

会所で収蔵するガラス乾板写真の調査ならびに保存措置を施し、デジタル化のうえ映像システムとして普及啓発ビデオコンテンツに追加する。

28年度進捗計画

データベース化、ビデオコンテンツとして映像化作業

⑤ 歴史学習に対応した講座等に関する業務

・古文書講座

【入門編】 河内屋南新田・深野南新田の古文書をテキストに、くずし字解読の基礎を学ぶ。

全5回実施 定員：20名

[初級編] 江戸時代の刊本をテキストに、かな文字の解読を習得する。
(入門編受講済みの方に限る)

全5回実施 定員：20名

[中級編] 多種多様な古文書を読みこなす。

全22回×2コース実施

[上級編] 博物館・文書館等への見学、文書整理の実務を習得する。

不定期(費用自己負担)

⑥ 鴻池家寄贈民具の整理

鴻池家寄贈民具のうち食器ならびにそれに付随する民具の調査及び整理を実施し、展示への活用ならびにデータベース化、収納場所の再編を実施する。

⑦ 地域連携事業の拡充

・近隣自治会、住民との連携事業の拡充

周濠の清掃事業等、近隣自治会及び住民と共同事業を実施していますが、より連携を深め、会所への理解を深める事を目的として連携事業を拡充する。

鴻池ジャズや落語会のように近隣住民が主催する行事について、場所の提供や職員による協力を行っているが、近隣自治会等が実施する餅つき等の行事にも場所の提供や職員による協力を行っていく。また、会所が催す各種の行事にも近隣自治会に参加を要請し、教育委員会の承認を得て招聘を行う。

招聘を実施する自治会

鴻池元町自治会、鴻池本町自治会、鴻池新町自治会。

・子どもたちやファミリー層への働きかけ

会所への入館者の、60才以上の高齢者や40才以上の壮年層が多数を占め、若年層やファミリー層の入館者が少なく、子どもたちも団体入館者を除けば少数であることから、まず、近隣の子どもたちを会所に足を向けさせる取り組みを実施する。

従来より実施している取組「もちつき」「しめ縄づくり」「綿くり、綿うち、糸つむぎ」の外、27年度、子どもゆめ基金の支援を得て実施した「木工の匠」と題した箸づくりを恒常化し、夏休みを中心とした日程で実施すると共に、鴻池元町自治会、鴻池本町自治会、鴻池新町自治会の各子ども会に参加を呼びかけていく。

⑧ その他

・河内木綿継承事業

江戸時代に河内地方の主要産物であった河内木綿を、会所敷地内で栽培収穫し、新田開発と木綿生産が密接な関係であったことを啓発。種を無料配布。

・野点

東大阪市茶道協会と協同で、庭園を眺めながら、座敷や庭園で茶会。(5月3日)

・蓄音機コンサート

鴻池家寄贈の1920年代の蓄音機にちなみ、SP盤で昔懐かしい音色を楽しむコンサート。(5月中旬)

・鴻池ジャズストリート

歴史や新しい魅力の詰まった鴻池地域で、会所をメイン会場にジャズのライブ演奏会。 東大阪市ジャズストリート実行委員会主催の協賛事業。

・鴻池寄席

出前高座「天満天神の会」による落語会。(11月3日)

・府下現存3会所との共同事業

安中会所、加賀屋会所と共に共同で実施する事業として、絵はがきの作成。

(配布方法：スタンプラリー達成者に配布)

東大阪市立埋蔵文化財センター

市内の遺跡や古墳から出土した土器や石器などの調査・整理・保存・展示に加え、「古代の生活を体験しよう!!」をキャッチフレーズに自ら体験学習をする機能を有した施設であり、老若男女を問わずどなたでも気軽に「見て、触って、そして作る」を目的としています。

また、歴史を学ぶ講演会や郷土博物館土曜講座の開催など、市の文化財保護行政と連携協力を図りながら市民文化の向上に努めます。

◇主な事業

① 収蔵品展示

- ・「A地域の大むかしの人々の暮らし」(4月1日～11月6日)

東大阪市内にある遺跡から出土したもののから大むかしの人々の暮らしを紹介します。

- ・「大むかしのB地域の人々の暮らし」(仮題)(11月12日から1年)

② センター内の部屋の貸し出し

- ・郷土博物館 土曜講座 (視聴覚室)

郷土博物館学芸員により、郷土の歴史をさまざまな観点から学ぶ学習会
全3講座(10月)統一テーマ「東大阪の注目の遺跡・史跡」

i 「興法寺と鷲尾山八十八か所」

ii 「奈良・平安時代の東大阪の墓」

iii 「東大阪の人物埴輪をみなおす」

- ・鴻池新田会所 古文書講座「中級編」(学習室)

多種多様な古文書を読みこなします。

全22回×2コース実施

③ 受け入れ図書等の登録業務

④ その他教育委員会主催事業等の協力

- ・体験学習、歴史講演会、春休み夏休みのイベント事業等

- ・年中行事を題にした期間限定の滑石づくり

(4) 文化芸術活動等の拠点となる施設の管理運営事業

児童文化スポーツセンター

- ① 施設観覧申し込みの受け付け、使用申し込みの受け付け、使用許可、使用許可の取り消し及び設備の許可
- ② 使用料、観覧料の徴収及び使用料の還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

市民美術センター

- ① 施設利用申し込みの受け付け、使用許可、使用許可の取り消し及び設備の許可
- ② 施設使用料等の徴収、使用料の減額及び免除並びに還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

文化財施設（鴻池新田会所、郷土博物館、埋蔵文化財センター）

- ① 鴻池新田会所の使用及び観覧の受け付け並びに使用許可書の交付
- ② 郷土博物館の観覧及び閲覧や貸し出しの受け付け並びに貸出許可書の交付
- ③ 埋蔵文化財センターの観覧及び閲覧や貸し出しの受け付け並びに貸出許可書の交付
- ④ 鴻池新田会所の使用料及び観覧料、冊子代金の収納
- ⑤ 郷土博物館の観覧料及び閲覧料、冊子代金の収納
- ⑥ 埋蔵文化財センターの冊子代金の収納
- ⑦ 鴻池新田会所、郷土博物館、埋蔵文化財センターの施設設備の維持管理業務
- ⑧ 資料の収集保管及び貸し出し
- ⑨ 文化財に関する広報活動